

【No. 1】 工事監理業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 施工図等の検討及び報告
2. 工事材料、設備機器等の検討及び報告
3. 施工要領書の作成
4. 労働安全、安全衛生対策に対する助言

答. 3

【No. 2】 工事監理と施工管理業務に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 施工管理とは、施工者の責任において設計図書どおりの目的物を顧客に引き渡すまでの管理業務である
2. 施工図等の検討及び報告、品質管理記録の確認等は施工管理業務である
3. 施工管理とは、品質・工程・原価・安全管理などを、施工者が自主的に行うことである
4. 工事監理とは、その者の責任において、工事を設計図書と照合し、設計図書とおりに実施されているかいないかを確認することをいう

答. 2

【No. 3】 積算・見積りに関する次の文章のうち、 に入る語句の組み合わせで、最も適当なものはどれか。

『 A とは、「ある一定単位の仕事を行う場合に必要な一定の作業量、材料量で表わすこと。」をいう。また B とは、「使用した材料（規格材料）に対し、実際それからつくられた製品量の割合」をいう、材料ロスの少ないときは、 B がよいという。』

- | | A | B |
|----|-----|-----|
| 1. | 歩掛り | 歩合い |
| 2. | 歩留り | 歩合い |
| 3. | 歩掛り | 歩留り |
| 4. | 歩合い | 歩掛り |

答. 3

【No. 4】 監理・施工に関連する技術動向に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. CIM・・・・・・・・・・3次元CADを活用したビルディングインフォメーションモデル
2. 建築物省エネ法・・・・・・・・建築物のエネルギー消費性能の向上を図る
3. グリーン購入法・・・・・・・・環境物品など、グリーン調達 of 積極的な推進
4. マニフェスト制度・・・・・・・・産業廃棄物の不法投棄の防止、適正な処理を確保する仕組み

答. 1

【No. 5】 組積工事に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. コンクリートブロック工事において、1日の積み上げ高さを2.1mとした
2. コンクリートブロックはシェル厚の厚い方を上にして積む
3. サッシュや金物の取付位置には、鉄筋を出しておく
4. コンクリートブロック工事に使用するモルタルは、凝結したものは使用しない

答. 1

【No. 6】 防水工事における下地処理に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. アスファルト防水の立上り部の入隅の処理を面取り加工とした
2. アスファルト工法での平面での出隅の処理を面取り加工とした
3. シート防水の平面での入隅の処理を直角に加工した
4. 塗膜防水の立上り部の出隅の処理を直角に加工した

答. 4

【No. 7】 タイル工事に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 張付け面積の小さい床タイルは自動車等の重量物が搬入する場所は避ける

2. 壁面の圧着タイル張り工法の下地モルタルは木ごて抑えで塗り付ける
3. 壁面接着剤張りの下地は乾式(石こうボード等)と湿式(モルタル等)がある
4. モザイクタイル張りは、台紙に張ってあるタイルを一つずつ剥がして張る

答. 4

【No. 8】左官工事に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. セメントモルタル塗りはタイル張りの下地に用いられる
2. 石こうプラスター塗りは厨房等の多湿で通気不良の場所では使用しない
3. 石こうプラスターは水和反応により、練り直しが何度でもできる
4. セメントモルタル塗りは骨材・混和材料の配合に注意する

答. 3

【No. 9】施設のサインにおける機能分類に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 表示・・・施設名・店名などを知らせるもの
2. 誘導・・・利用者に目的の方向や位置を知らせるもの
3. 防止・・・施設などの目的・意図・機能・使用方法を知らせるもの
4. 規制・・・入場規制や禁煙表示のように安全や秩序を保つためのもの

答. 3

【No.10】材料に関する次の記述のうち、不燃材料でないものはどれか。

1. グラスウール
2. しっくい
3. 厚さが9ミリ以上の石こうボード
4. 厚さが5ミリ以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板

【No.11】 ヒートアイランド現象の緩和に関係がある建材に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 発泡プラスチック系断熱材
2. 高反射率塗料
3. 壁面緑化パネル
4. 保水性舗装

【No.12】 木質材料に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. CLTは、床版として使用することが可能である
2. LVLは、ひき板を繊維方向が直交するように相互に張り合わせたものである
3. エンジニアードウッドとは、強度特性が計算・評価・保証された加工木材製品である
4. 日本国内で産出された木材を使用することはCO2削減につながり、結果、地球温暖化対策となりうる

【No.13】 金属材料に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. アルミニウムの比重は鉄の1/2と軽量であり、加工性にすぐれている
2. ステンレス鋼を使用する場合、他種金属との接触による錆の発生に注意しなければならない
3. ステンレス鋼は、鉄にクロムやニッケルなど耐食性を高める元素を添加する方法で製造される
4. 黄銅（しんちゅう）は銅と亜鉛の合金であり、耐食性・铸造性・弾力性にすぐれ、内外装に多く使用される

【No.14】 ガラスに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 「フロートガラス」は、熔融金属上に浮かべて製造する
2. 「強化ガラス」は、通常の板ガラスに比べ3～5倍の強度がある
3. 「合わせガラス」は、複数枚の板ガラスの間に乾燥空気層を設けたものである
4. 「すり板ガラス」は、表面に無数の細かい傷があり、同じ厚みの透明ガラスに比べ曲げ強度などが弱い

答. 3

【No.15】 建築物の維持保全に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 定期的に保全を行う時間計画保全は予防保全の一種である
2. 予防保全によって設備機器等の延命を図ることが可能になる
3. 予防保全は劣化箇所に関して対症療法的に原因を究明し補修する維持保全の方法である
4. 建築基準法では、建物の所有者やテナントは、つねに建物を適法な状態に維持するよう努める義務があると規定されている

答. 3
